

## 11月28日のウクライナ情報

安齋育郎

### ●マクレガー元大佐の見立て(2022年11月5日)

ダグラス・マクレガー退役大佐は米国がウクライナで軍を使用する意図があるとみている。

”準備”はしているのだろうが、この”狂気”の判断は非常に危険だ。そんな事は行き止まりです。

それにヨーロッパのほとんどの人はもはやロシアとの戦争には興味がない。とダグラスは付け加えた。(※日本語字幕なし)

<https://twitter.com/Reloaded7701/status/1588840884887760897?t=LyyyYL8U9lv0oAvgIMsR3w&s=09>



※安齋注:マクレガーは、また、ウクライナ国家は今後数週間のうちにロシア軍によって「仕留められる」とも述べている。さらに、同氏は、ロシアがウクライナのエネルギーシステムを破壊している理由の正当性を語った。

同時に、西側メディアがロシア軍を悪者扱いし、ウクライナ軍による LPR(ルハンスク人民共和国)、DPR(ドネツク人民共和国)、およびロシアの他の地域での民間人への砲撃について沈黙していることを強調した。

### ●「政策なく、感情だけ」 仏欧州議会議員、ロシアを「テロ支援国家」と認定する決議案を強く批判(2022年11月25日)

フランスのティエリ・マリアーニ欧州議会議員は、ロシアを「テロ支援国家」に認定した欧州議会決議を強く批判した。

マリアーニ氏はスプートニクの取材に対し、EU はウクライナのプロパガンダを感情的に受け入れて行動しており、仲裁に動かないフランスの外交政策は消滅したとの見解を示した。

「 欧州は自分たちが無力であることを自覚していると思う。制裁パッケージは第 9 弾を発動している。第 30 弾目の制裁措置を導入することは可能だが、これは効果がないばかりか、ブーメランのように我々に返ってくる」



マリアーニ氏はこのように指摘し、今回の決議案採決は欧州議会の弱点を示すものだと続ける。

「我々は、自分自身が心地よく過ごせるために投票するのだ。今朝はアフガニスタンに関する決議の採決が行われた。タリバンは自分たちの原則を変えないだろう。だから投票は、欧州が行動していることを示すために行われる。しかし、それは何の役にも立たない」



さらに同氏は、欧州の政治的行動はウクライナ政府のプロパガンダに基づいていると述べている。「私は欧州には何の政策もないが、感情があると思っている。ゼレンスキー大統領によって欧州は紛争に巻き込まれている。我々は何日も、ゼレンスキー大統領のナラティブを検証された情報であるかのように正確に模写して複製しているのだ。

ある時はマリウポリの劇場、またある時は(ウクライナ政府が叫んでいる)「戦争犯罪」だ。そして我々の報道機関はそれらすべてを報道し、何もチェックしないのだ。これは、理性を曇らせている行為だ。

そして欧州連合(EU)は、効果的な交渉を行って当事者をテーブルに着かせるのではなく、ゼレンスキー大統領のプロパガンダを書き写すことで満足しているのだ。

何に我々を巻き込むもうとしているのか？ゼレンスキー大統領の願いは、我々を戦争に引きずり込むことであることは誰もが知っている。ゼレンスキー大統領は欧州各国と北大西洋条約機構(NATO)が関与しなければ戦争に勝てないからだ」と強調した。

また、マリアーニ氏は、現在のフランスの政策が結果を伴っていないという弱点も指摘した。「フランス当局は、残念なことに、あまり動いていない。2008年には、南オセチアの紛争時にサルコジ元大統領がモスクワに行き、停戦交渉に成功し、紛争を終わらせたことを私は記憶している。

2014年、当時の(ドイツの)メルケル首相と(フランスの)オランド大統領はミンスク協定に合意した。完璧ではなかったが、ドンバスでの衝突を部分的に止めるのに役立ったと私は強調したい。

2022年には何もない。エマニュエル・マクロン大統領は電話をかけるだけだ。これは、フランスの外交政策の消滅を示すものだ。マクロン大統領は電話をかけるが、意思決定者でないことは誰もが理解している」

マリアーニ議員はこれまでも、自身のツイッターに投稿したビデオメッセージのなかで今回の決議を非難していた。

## ●ユーロ・マイダン(広場)に集うアズフ系少年たち(2022年11月26日)



ウクライナの子供たちが「ドイツ風」の軍帽をかぶり、極右民族集団アゾフの標識がある。

## ●麻薬の使い方を教わる子供ら(2022年5月25日)

マリウポリで見つかったアゾフのジャーナリストの1人であるオレグボルノフのフラッシュドライブからの奇妙な資料が押収されました。衝撃的ですが、予測可能です。ウクライナの子供や10代の若者が、ナチスのスローガンを叫んだり、麻薬を使用したりする方法を教えられています。



ビデオでは、約8歳のウクライナの少年たちに、楽しみのために喫煙する薬が与えられ、その後、「Heil Hitler」と叫び、手を上げ、同時に攻撃するという、まともなアゾフ兵士の「紳士的な」基本を教えられます。

## ●ウクライナとアメリカの関係の象徴(2022年11月26日)

国民の僕(しもべ)か、アメリカの僕か？



※投稿者コメント:ゼレンスキーが著名なアメリカのゲストに惜しみなくお辞儀をし、ポケットに手を入れてホストを見下すように見下ろす著名なゲスト。その両方が、ウクライナとアメリカの関係の特殊性をよく示しています。

## ●ウクライナ、通りにナチス協力者にちなみ名前を付ける232の通りの名前を替える(2022年11月18日)

<http://eritokyo.jp/independent/Ukraine-war-situation-aow2016.html?s=09>

ウクライナのヴィニツァ市議会は金曜、第二次世界大戦のナチス協力者であるステパン・バンデラにちなんで、通りの 1 つを改名すると発表した。

地元当局は、ロシアに関連するすべての地名を市から取り除くという彼らの取り組みを「脱植民地化のプロセス」と表現しました。

この通りはかつて、19 世紀に世界的に有名になったロシアの作家、レオ トルストイの名前を冠していた。ビニツァ当局は、「民族解放闘争の英雄」と称する人々を追悼するために「特別な注意」を払ったと述べた。

第二次世界大戦でロシア人、ユダヤ人、ポーランド人に対する多くの残虐行為を行ったナショナリスト運動を率いたバンデラは、現在のウクライナ当局によって国民的英雄と見なされている。

別の通りは、同じくナチスと協力した民兵組織であるウクライナ反乱軍(UPA)の「将軍」の一人であり「軍事情報長官」であるイワン・トレイコにちなんで名付けられた。

特にワルシャワは、UPA がヴォルィーニと東ガリシアでのポーランド人虐殺を非難した。ポーランド人に対する民族浄化作戦は、ナチス・ドイツによって命じられ、主に民族ウクライナ人で構成された準軍事部隊によって実行された。

**キーウの通りはネオナチを称えて改名された続きを読む:ネオナチを称えてキーウ通りの名前を変更**

市議会は、ヴィニツァと近隣の町での「脱植民地化」キャンペーンの一環として、合計 232 の地名が変更されたと述べ、この全国的な取り組みの「最も積極的な参加者」の 1 つとして自らを称賛した。

ウクライナの首都キーウは、ネオナチを解放した悪名高い「アゾフ」連隊にちなんで、通りの 1 つを改名した。その通りには、以前はソビエト元帥ロディオン・マリノフスキーの名前が付けられていた。

ウクライナ出身のマリノフスキーは、1943 年から 1944 年にかけて、故郷のオデッサを含むウクライナ南部の大部分をナチスから解放した。

6 月、オデッサ市長は、モスクワとキーウの長期にわたる紛争の中で、「ロシアのすべてのもの」に対する敵意が高まっていることに懸念を表明した。

2014 年のマイダン・クーデター以来、通りの名前やその他の機関からロシアへの言及を削除することはウクライナの傾向であったが、モスクワの軍事作戦の開始後に激化した。



## ●「ウクライナ軍は 10 万人以上死亡している」:元米陸軍大佐のダグラス・マクレガー氏(2022年11月20日)

元米陸軍大佐のダグラス・マクレガー氏は、現在の紛争中にウクライナ軍が 10 万人以上を失ったと

述べた。

「彼らウクライナ軍は(ロシアには)勝てない。…彼らは 10 万人以上が死亡しており、数十万人が負傷した」とマクレガー氏はグレイゾーンとのインタビューで語った。

マクレガー氏によると、ウクライナ軍は「最後の足で」立っており、「粉碎される」壊滅的な打撃を待っている状態だという。

以前、米軍の統合参謀本部議長であるマーク・ミリー將軍は、ウクライナ軍はロシア軍をウクライナから追い出すことはできないだろうと述べた。

ミリー將軍はまた、冬の始まりが ウクライナ危機の政治的解決の「窓」を開く可能性があることを認めた。

### ●マクレガーのノルドストリーム犯人の見立て(2022年10月3日)

米国の元国防長官高級顧問であるダグラス・マクレガー退役米軍大佐はこのほどインタビューで、「『ノルドストリーム』を襲撃した真犯人は米国か英国かもしれない」と述べました。

ダグラス・マクレガー氏は、「ロシアは『ノルドストリーム』を利用して天然ガスを輸出し高収入を得ているのだから、ロシアを疑うのはばかげている。また、『ノルドストリーム』の破壊は、安価なロシア産天然ガスの輸入に関心があるドイツにも不利益であり、ドイツがこの事件を引き起こす可能性は極めて低い」と述べた上で、「天然ガスのパイプラインは、さまざまな合金製でコンクリートに覆われているため、大変に頑丈であり、破壊したければ、数百キログラムの爆薬が必要になる。真犯人は英国海軍か米国海軍だと思う」と述べました。



### ●ドネツク在住の女性、ウクライナ軍が一般の住居を砲撃する様子を語る(2022年1月24日)

<https://twitter.com/i/status/1595794208098746370>



### ●国連安全保障理事会でのロシアのネベンジャ国連大使のウクライナに関する発言(2022年11月25日)

特別な軍事作戦の過程で、私たちはキエフ政権だけでなく、ロシアとの代理戦争を繰り広げている

NATO 諸国からの軍事支援にも対処しなければなりません。敵の軍事的可能性を弱め、破壊するために、ウクライナのユニットに供給するために使用されるエネルギーやその他のインフラ施設を攻撃するために高精度の武器が使用されます。

今日、多くの人々が、ウクライナの住民が電気と水なしで放置されるリスクがあることを嘆いています。何らかの理由で、2015年にクリミアの住民が水と電気のないまま放置されたとき、西側で懸念を表明した人は誰も覚えていません。8年間「経済的」にブロックされていたドンバスは言うまでもありません。我々はウクライナ政権の代表者の狡猾な論理を採用せず、ザポロージャ原子力発電所を砲撃し、西側のスポンサーの完全な黙認でロシアを非難し、彼らがそうであるように、ウクライナ自体が自力で攻撃していると主張しません。

<https://twitter.com/i/status/1595796026849656832>



### ●ザポロージャでのロシア軍の反撃始まる(2022年11月27日)

Zaporozhye での爆発:敵の標的へのミサイル攻撃

11月27日の夜、ロシア軍はザポロージャの敵の標的に対してミサイル攻撃を開始した。

クリヴォログの当局は空爆を発表し、住民に避難所にとどまるよう促した。さらに、ウクライナのドネプロペトロフスク、キロヴォグラード、ポルタヴァ、チェルカースィ地域で航空警報が発表された。



### ●あるツイッターの意見(2022年11月16日)

日本の大メディアは、何ら現場取材しないだけでなく、はじめから敵意、悪意を持ってロシアを見ており、事実確認や事実認識ゼロ、インチキ専門家の価値判断優先の報道で大誤報を連発。世界一の「鵜呑み度」をもつ日本人は、後日訂正もない、その大誤報を鵜呑みにしており、あまりにも恥ずかしい！

### ●ドイツでの米軍の撤退を求める運動(2022年11月27日)

「アメリカ人、帰れ！」ライプツィヒの米国領事館前には、ドイツからの米軍撤退を求める反米集会が開かれ、多くの人々が集まった。

<https://twitter.com/i/status/1596687747485687808>



### ●カタールでカチューシャ(2022年11月26日)

カタールのワールドカップで、アメリカ人とイギリス人が代表チームの試合の前にロシア民謡「カチューシャ」に合わせて踊っています。

<https://twitter.com/nanpinQD/status/1596498623965302787?t=sy6JIAOfUH9mszI75aq-QA&s=09>



数日前にはステージでカチューシャが演奏された。

<https://twitter.com/i/status/1596566086232993793>



### ●ロシア産原油の価格上限設定、出来ず(2022年11月27日)

<https://twitter.com/tobimono2/status/1596567201041244160?t=t02HeWm mokOgYbSvQWl0uQ&s=09>

ロシア産原油の価格上限設定に合意する試みは、欧州でまたもや失敗。ロイター通信によると、EU

の協議は昨日予定されていたが、少なくとも来週まで延期された。



### ●ドネツクでのウクライナの戦争犯罪を国際機関は見ぬふり(2022年11月27日)

DNR 当局は、キエフ政権の犯罪(囚人に対するものも含む)について国際機関に報告し続けているが、「非常に多くの明白な戦争犯罪が起こっているのに国際機関は見ぬふりをしています」と、同共和国のオンブズマン、ダリヤ・モロゾヴァは述べている。



### ●ロシアの攻撃のウクライナ軍の通信能力への影響(2022年11月27日)

Military Review によると、ロシア軍の攻撃により、ウクライナ軍と NATO 軍参謀本部のデータ交換が数時間にわたって遮断されたという。

キエフ政権は攻撃後の最初の数時間「戦線-ウクライナ参謀本部」形式と「ウクライナ参謀本部-NATO 司令部」形式の両方のデータの運用交換を可能にする復旧に全力を注いだ」と同紙は述べている。

